

初心者用トレーディングガイド

トレーディング 成功へ導く **10**のヒント

時間とお金を節約するためのヒント
をご紹介します。

目次

- 1 市場のルールを学ぶ
- 2 トレーディングプランを作成する
- 3 プランを実行する
- 4 取引前に市場状況を想定する
- 5 取引資金を管理する
- 6 新規売買のタイミングを知る
- 7 感情をコントロールする
- 8 自分のトレードスタイルを確立する
- 9 一貫性が成功のカギ
- 10 市場の変化と上手く付き合う

1 市場のルールを学ぶ

実際に取引をする前に、取引方法を理解し、市場分析をすることが大切です。FX、コモディティ、CFDのどの市場でも、それぞれの市場の分析と取引の方法について必ず理解する必要があります。書籍、ウェブサイト、ブログ、トレーニングビデオなど、多くの情報がお客様ご自身でインターネットで調べることができます。これらの情報源の多くは、インターネット上で見つけることができますので、お客様ご自身でお調べいただけます。

取引における専門用語や、市場に影響を与える要因について学習するとよいでしょう。例えば、pipsという専門用語について紹介します。FX取引で、1,000ドル（USD/JPY）の取引を行う場合は1pipあたり10円が相当額となります。pipは、取引されている通貨ペアとその清算通貨によって異なります。次に、影響要因についてご紹介します。FX市場は取引される通貨ペアとそれに関連する国の経済指標発表に強く影響を受けます。特にアメリカ、ユーロ圏、日本の経済指標が発表されると、為替市場は大きく変動する可能性があります。

用語、影響要因は、FX、CFD、コモディティなどそれぞれの市場を取引する際に理解することも重要ですが、取引する各市場もまず十分に検討する必要があります。トレーディングの成功を目指すには、市場をよく知ることが大切です。

2 トレーディングプランを作成する

トレーディングプランを作成することにより、トレーディング活動をより鮮明に描くことができ、必要な行動を明確にすることができます。トレーディングプランは、あなたの目標、取引方法、分析プロセス、リスク・リターン比率を書き出すと良いでしょう。プランがしっかり構築されていれば、取引を正しい方向に導くコントロールがしやすくなります。

トレーディングプランの主な要素は以下の通りです。

1. 前回の取引セッションや取引時間帯を確認
2. 取引機会の把握
 - a. 市場のマクロ分析—ニュース、経済報告、その他の影響要因。
 - b. 市場のミクロ分析—チャートや指標
3. エントリーポイント(新規売買)の検討
4. トレードごとにリスクを設定
5. 利益確定と損切の水準を設定

最低でも上記5つの要素を含んでいることが望ましいです。プランを紙に書き出して自分のプロセスを記録し、文書化したプランに従うことによって、取引を合理化することができます。

3 プランを実行する

トレーディングプランは実際に試してみることが大切です。デモ取引口座を使って、作成したプランをテストしてみましょう。デモ口座は、多くの取引会社が提供しています。リスクなしで実際の取引と類似した環境でシミュレーションができるため、トレーディングプランを試すのに最適です。デモ口座で取引の練習をすることで、自分のトレーディングプランの弱点を見つけ、修正することができます。

シミュレーション環境で取引を行う際は、実際の環境で取引を行っているように、プランに従って取引することが重要です。作成したプランでシグナルが発生したときのみ取引を行い、利益確定と損切の水準もプラン通りに行いましょう。多くの初心者の方は、プランを守らず、デモ口座による取引という感覚をもってしまいう傾向にあります。その結果、実際の取引結果がデモ取引で行った結果と大きく異なることがあります。デモ口座でも本番環境で取引しているという意識を持っていれば実際の取引に移行するときの準備ができるでしょう。

4 取引前に市場状況を想定する

ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析の2つの主要な分析スタイルを使って取引前に市場の状況を定期的に分析することが重要です。市場の状況が取引に適していると考えられる場合もあれば、取引を控えた方が良いと考えられる場合もあります。最初に時間をかけて市場分析の方法について学んでおくと、後々の取引で役に立つでしょう。複雑すぎず、自分がよく理解したうえで使いやすい分析方法を選ぶことをお勧めします。分析を行う上で最も大切なことは、使用している指標やマーケットビューに組み入れる経済情報（経済レポートやニュースなど）をどれだけ理解しているかということです。市場分析に自信が持てない場合や、情報があいまいなシグナルを出している場合は、より強いシグナルが出るまで待つことが大切です。

5 取引資金を管理する

初心者の方は、リスクへの抵抗が強い傾向にあります。すでに開始した取引について悩んだり、市場が好転すると信じて、損失を抱えたまま建玉を決済しようとならない方が多くいます。成功しているトレーダーは、すべての取引に潜在的なリスクがあることを認識しながら取引を行っています。

簡単に言ってしまうと、取引で起きる事象は次の3つしかありません。

1. 取引相場がトレーダーにとって有利に動く。
2. 取引相場がトレーダーにとって不利に動く。
3. 取引相場が横ばいで推移する。(利益も損失もなし)

これら3つの事象は、トレーダーの手ではコントロールできません。コントロールできるのは、これら3つの事象が自分にとってマイナスまたはプラスになるかを踏まえて取引を行うことです。相場が有利に動いたときに利益を確定するのか、不利に動いたときに損切するのか、あるいは取引相場が横ばいで勢いがなくなるときに取引を終了するのかは、自分自身の判断となります。

自分のリスクとリターンレベルを知ることで、取引の結果をコントロールできます。多くのトレーダーは、1%から3%のリスク水準を設定しています。例えば、10,000円の取引開始資金に対して2%のリスク水準を設定したら、2%以上のリターンを得ることを目標にしつつ、1回の取引で200円以上のリスクを負わないようにします。それと同じように重要なのが、取引している相場のレンジ内で妥当な利益確定注文水準を設定することです。平均レンジが100ポイントのため、300ポイントの動きを期待することは望ましくありません。

損失を減らすためにはリスクを低く設定します。自分にとって適切なリスク・リターン倍率の水準を見極め、それを取引プランに組み込みましょう。余裕資金以上のリスクを負わないよう、取引を心がけてください。

6 新規売買のタイミング

逆指値（損切）や指値（利益確定）注文は、自分で建てたプランに基づいて設定しましょう。これらの注文を利用することによってリスクを軽減できます。多くのトレーダーは、損失を抱えている状態の建玉で損切（ストップロス）注文の水準をどんどん切り下げていき、大きく投資資金を失うレベルまで調整してしまう傾向があります。反対に、利益確定（テイクプロフィット）のための注文水準をどんどん高くしているうちに、価格が反転して利益を失ってしまう場合があります。それぞれの取引において、開始、損切、利益確定の目標価格水準を設定しておく必要があります。これらの水準はすべて、作成したプランのルールに基づいて、そのプランが実行されるように設定し、予約した注文をあとから調整するのではなく、最初にすべての取引で適切な注文を出すように心掛けましょう。もし、後から予約注文を調整したいと思うことがあれば、プランを見直し、水準を調整しましょう。

7 感情のコントロールする

感情のコントロールは、利益を追求していくうえで重要です。成功するトレーダーは、考え抜かれたトレーディングプランの仕組みと規律を利用することで日々の取引から感情を排除しています。計画的かつ戦略的に取引を行うことで、感情を抑えることが可能です。トレーダーの中には、トレーディングプランに関連する簡単なチェックリストを作るなど、毎日行うべきルーティンを決めている人もいます。また、短時間の身体運動で頭をすっきりさせ、集中力を高めるトレーダーもいます。自分の取引プロセスを確立し、必要に応じて一つ一つのステップを正しいフォームで実行していくことが重要です。自分の取引プロセスに忠実であれば、あなたの取引プロセスはすぐに自然な流れを生み出し、その流れが自然と身に付くようになると考えられます。

毎回正しいスタートを切るためのプロセスを構築し、それをトレーディングプランに組み込みましょう。

8 トレードスタイルの確立

自分の性格を理解し、その性格を補うようなトレーディングプランを立て最良の結果を得ることができます。短期取引に向いている人もいれば、長期取引に向いている人もいます。自分自身の性格を知ることは、取引する市場の性格を知ることと同じくらい重要です。オンラインでは、自分自身を知るための多くの評価ツールが提供されており、トレーディング心理や行動ファイナンスについて書かれた書籍や記事もたくさんあります。自分がどのような人間なのか、そしてそれがどのようにトレーディング心理に適用されるのかを探ってみましょう。

9 一貫性が成功のカギ

トレーディングでの成功は、成功する取引を選択する能力が優れているではなく、作成したプランに基づく規律と一貫した行動がカギだと考えられます。実際、ほとんどのトレーダーは、利益の出た取引と同じくらい損失の出る取引を行っています。トレーダーの成功率は、損益回数の比率が50対50になるようになります。取引を重ねれば重ねるほど、50対50に近づいていきます。このシナリオでは、リスク・リターン倍率を考慮することが重要です。すべての取引で100円のリスクを負い、100円の利益を得ようとした場合、平均して50対50であれば、利益と損失が等しくなります。もし、利益目標を101円から200円、またはそれ以上の範囲にまで増やした場合、利益を確立することができるでしょう。

10 市場の変化と上手く付き合う

常に市場は変化し、市場のメカニズムは様々な方向に動きます。自分のトレーディングプランを定期的に見直し、必要に応じて、新しい取引環境の変化に合わせて調整すること大切です。トレーディングプランの中核となる要素と原則は、どのような市場でもあなたの役に立つと考えられます。時間をかけてファンダメンタルズ分析を理解し選択した市場やトレーダー自身に合わせてトレーディングプランを調整することが望ましいです。

【免責事項・著作権・リスク警告】

FX等の店頭デリバティブ取引については、利益を保証した金融商品ではなく、金利の変動で損害を被るリスクがあり、投資元本は保証されません。また、証拠金額以上の投資が可能のため、マーケットの相場変動率に比べ投資元本の損益変動率が大きくなることから、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。本資料に掲載されている情報および提供されているリンクは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであって、売買を推奨するものではなく、将来の投資成果を示唆または保証するものでもありません。投資の最終決定はご自身の判断で行ってください。本資料に含まれるいかなる意見、市場分析、その他の情報も、いつでも変更される可能性があります。本資料に掲載されているすべての取引に関する考え方やシナリオは仮説的なものです。

本資料の原文ならびに日本語翻訳文につきましてはTF GLOBAL MARKETS (AUST) PTY LTD.またはTF Global Markets Japan株式会社が著作権を有しています。目的の如何を問わず、無断複製、転載等行うことは固くお断りいたします。また、本資料につきましてのお問い合わせは、TF Global Markets Japan株式会社にご連絡ください。

TF Global Markets Japan株式会社(金融商品取引業者)

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第250号

加入協会: 金融先物取引業協会 会員番号1536

TEL: 0120-010-097(受付時間10:00~17:00)

Eメール: support-jp@thinkmarkets.com

【リスク等の広告記載事項】

ThinkTraderは、金融商品取引法に規定される店頭デリバティブ取引(店頭外国為替証拠金取引)です。利益を保証した金融商品ではなく、金利の変動で損害を被るリスクがあり、投資元本は保証されません。

ThinkTraderは、証拠金の額以上の投資が可能のため、マーケットの相場変動率に比べ投資元本の損益変動率が大きくなることから、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。買値と売値、スワップポイントの受取りと支払いには差があります。また金利変動により、スワップポイントが受取りから支払い等に転じることがあります。お取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の25倍までの取引が可能です。

ThinkTraderの取引はサブスクリプション方式により、定額会費(月額最大で8,000円)を払うことで取引が行えます。なお新規・決済取引毎ごとの手数料は無料です。

ThinkTraderは、時価評価総額が必要証拠金の100%を下回った場合、ロスカットとなります。ロスカット時に元本を超える損失が発生する場合がございます。

ThinkTraderは、スプレッドが相場急変時、指標発表時等について拡大する場合があります。また、スリッページが発生する可能性もあることから、発注時点に比べ不利な価格で約定する場合がございます。また、市場の流動性低下等の理由により注文を受け付けられない場合があります。なお、広告に適用されている通貨のスプレッド実績は、当社のホームページに掲載されています。

取引開始にあたっては契約締結前交付書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉TF Global Markets Japan株式会社

〈金融商品取引業者〉 関東財務局長(金商)第250号

〈加入協会〉一般社団法人金融先物取引業協会